

夢たまご通信

令和8年度
生徒会スローガン
ChanceでChange!
～善力 前力 全力～



ぜんりよくん

上宇部中学校だより No.7 令和8年10月23日発行

《貴重な体験授業》

①高専による出前授業

9月11日と30日の2日間、宇部工業高等専門学校（高専）の先生と学生さんが本校にお越しになり、1年生と3年生の各クラスに理科の臨時授業をしてくださいました。「状態変化」をテーマに、液体窒素を持ち込んだ実験を実施していただき、日常では気づきにくい、空気や身の回りの物質などの性質について学ぶことができました。今後も機会があれば様々な学習でご支援いただきたいと思います。



②地域の方々によるエネルギーに関する学習支援事業

地域在住で理系企業のOBや大学名誉教授などによる団体である「山口県アクティブシニア協会西部支部」の方々が、2年生の理科学習を支援してくださっています。身近な電気エネルギーについて分かりやすく説明したプレゼン資料や、手作り実験教材による体験学習などを通じて、家庭の省エネや、電気エネルギーの取り出し方について学ぶことができました。この学習支援は、理科の授業支援の他、地元のエネルギー関連施設の見学ツアーや、希望生徒のグループによる探究学習などのメニューもあり、さらに学習を深めることができます。地域の方々との貴重な交流学习を大切にして、様々なことに興味関心を持ちながら学習を継続してほしいと思います。



《人権に関する学習》

10月15日は人権に関する授業参観と講演会を実施しました。1年生は「互いを認め合うことの大切さ」、2年生は「相手を受け入れる寛容な心」、3年生は「社会の一員として必要な考え」をテーマに、他者との関わりにおいて必要な正しい判断・行動について個人やグループで考えました。その後の講演会では、講師に車いすラグビーチーム・福岡ダンデライオンの選手兼副代表、工棟 徹先生をお迎えし、チームメイトの方々との競技体験などをおりませながらのご講演をいただきました。各個人の人権を尊重し、自他を大切にしながら生活することの大切さを改めて学ぶ貴重な時間となりました。



《救命救急法講習会》

10月2日（金）、日本赤十字社の方を講師にお招きして、救命救急法講習会を開催しました。午前中の3時間を利用して、2年生全員と本校教職員が講習に参加しました。心肺蘇生の実技指導やAEDの使用法などについて学習することができました。生徒は真剣に講習会に参加していました。いざというときに社会の一員として、人命救助に関わるためには、日頃から正しい知識や行動を身に付けることが大切です。



10月24日開催の文化祭については、11月発行の通信でご紹介します。